

飯伊 産業経済動向

No.477 2018/12
(31. 1. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,004	枚	△	5.0 %	△	15.0 %
	金額	4,409,032	千円		18.3 %	△	3.0 %
うち不渡発生状況	枚数	0	枚	(前月 0 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	0	千円	(前月 0 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)(11月)	県内	9	件	(前月 11 件)		(前年同月 4 件)	
	飯伊	3	件	(前月 6 件)		(前年同月 0 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(11月)		95	戸		102.1 %		18.8 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(11月)		1.54	倍	(前月 1.58 倍)		(前年同月 1.74 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,961	台	△	14.5 %	△	1.9 %
	中古車	584	台		2.1 %	△	1.5 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (11月)	新車	4,313	台	△	1.3 %		7.4 %
	中古車	845	台	△	12.6 %	△	6.9 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	111,457	台	△	9.5 %	△	0.5 %
	出	115,517	台	△	5.9 %		0.3 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	77,017	台	△	16.8 %	△	0.8 %
	出	75,733	台	△	17.5 %	△	2.9 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	12,472	台	△	34.7 %		3.1 %
	出	12,783	台	△	33.2 %		2.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	36,555	台	△	23.1 %	△	4.1 %
	出	36,910	台	△	23.3 %	△	3.0 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		150	件		8.7 %	△	19.4 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		16	件	(前月 4 件)		(前年同月 0 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	28,429	人		7.7 %		0.6 %
	飯田～名古屋	18,173	人		1.8 %		1.1 %
	飯田～長野	8,425	人	△	12.3 %	△	3.8 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	23,128	人		9.9 %		- %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,515	人	△	1.4 %	△	0.1 %
	右回り	3,469	人	△	3.0 %	△	3.4 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ
[フチユラリス100] を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

12月の製造業の業況判断指数(DI)は、マイナス34.6で、前月から4.6ポイント低下。翌月予測もマイナス46.2で、前月から4.8ポイント低下している。

電気、精密機械器具の販売は、前月比やや減少。一部に景況感が悪化した業者も。半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比やや減少～概ね横ばい。産業機器や医療機器向け部品の販売の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～横ばい。景況感が悪化した業者が多い。建築用金属製品の売上は、前月比、前年比ともやや減少も、「高水準で推移。この時期は例年多忙だが、全国的に同業も多忙な様子」との声。自動車向け部品の販売は、前月比減少～横ばい、総じて景況感に動きは見られない。光学機器関連部品の販売は、前月比横ばいとの声。小型電磁機器の販売は、前月比やや減少～横ばいも、景況感に動きは見られない。FA関連モーターの受注は、前月比、前年比ともやや増加も、販売が下降していることもあって景況感は悪化との声が寄せられた。電気、電子製品の生産は、前月比概ね横ばい、景況感も動きはないとの声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、やや増加との声が複数。景況感は分かれ、「年末の動きが速かった。先月の20日頃から生産が増加」など景況感が好転した業者が見られた一方、「食品スーパーが昨年より良くないとの話を聞く。11月頃から動きが悪くなっていると思われる」といった声も。水引製品の販売は、時期的なこともあり前月比減少。前年比は、「正月飾りの販売数は例年通り」といった声が多い。漬物の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、「年末商戦も盛り上がり欠けた感」との声。

建設業

12月の建設業の景況DIはマイナス7.7で、前月から7.7ポイント低下。翌月予測DIは0.0で、前月から横ばい。

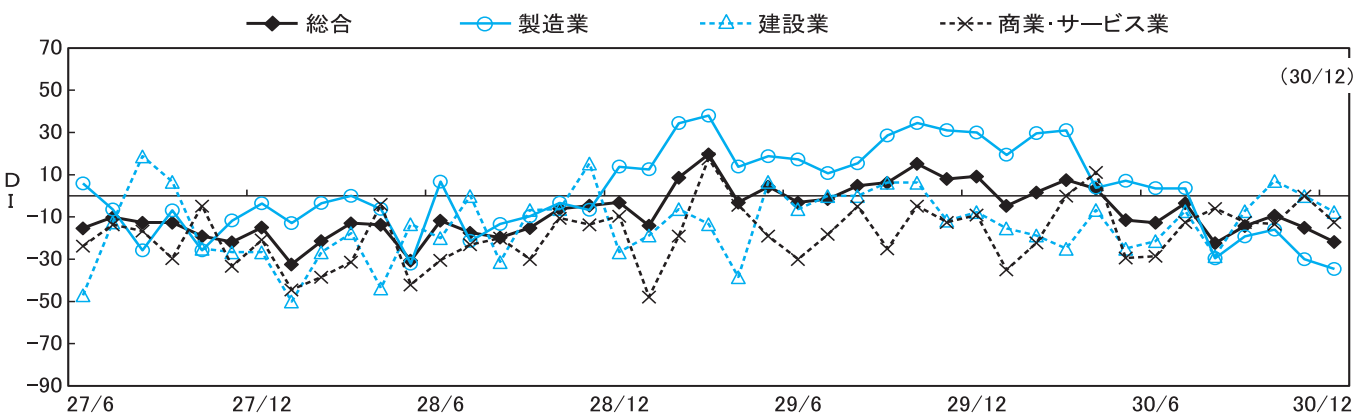
当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、平成31年1月15日調査時点で約20.3億円となっている。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばいとの声が多い中、減少したとする業者も見られた一方で、やや増加したとする業者も少なくない。「官庁の建築工事量は少ない」などの声の一方、「補正予算の成立で国も県も公共工事の発注がある。2月の補正があれば建設業はさらに忙しくなる。4月以降も仕事が切れることはないのではないか」などの声も聞かれた。

当地区の11月の住宅着工戸数は95戸。前月比102%増加、前年比も19%増加している。当月の調査先企業の受注残高は、前月比横ばいとの声が多く、「個人住宅は順調の模様」「今月はあまり受注ができていない。住宅を含めてどうも仕事が薄い感」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者は見られない。

商業・サービス業

12月の商業・サービス業の景況DIは、マイナス12.5と、前月より12.5ポイント低下。翌月予測DIも、マイナス38.9で、前月より15.4ポイント下降している。食料品の売上の前月比は、やや増加～増加。前年比は業者により増減分かれる。青果卸売市場の販売は、「年末につき」前月比増加との声。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比増加も、景況感に動きは感じられないとの声。電化製品の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声が寄せられた。家事用品の売上は、前月比増加、景況感も良好との声。OA、事務機器の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声が聞かれた。娯楽用品の売上は、「クリスマス商戦」で前月比大幅増加も、前年比は「売れ筋不在」で、やや減少との声。衣料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。土産物の売上は、前月比概ね横ばいという。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比15%減少、前年比も2%減少。11月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比1%減少も、前年比は7%増加。市内料理店の売上は、前月比増加との声。前年比は業者により増減分かれる。昼神温泉の売上は、前月比、前年比とも減少との声。タクシーの売上は、前月比増加、前年比やや減少との声。「繁忙期だが、週末に需要が集中している」「天候による需要もなく、厳しかった」などの声が聞かれた。

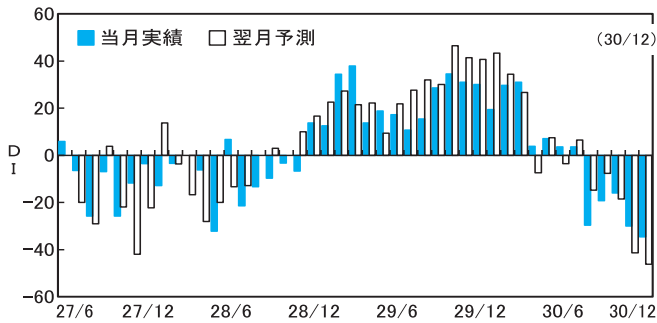
飯伊地区景況DI (本誌調査)



製造業

地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



当月実績DI -34.6（前月 -30.0）

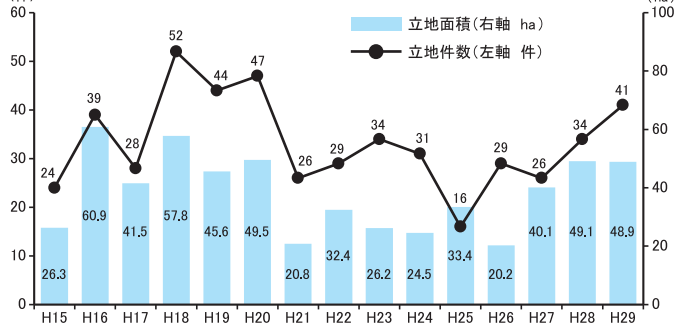
翌月予測DI -46.2（前月 -41.4）

当月の製造業の業況判断指数（DI）は、マイナス34.6で、前月から4.6ポイント低下。翌月予測もマイナス46.2で、前月から4.8ポイント低下している。

飯伊地区の工場立地の動向

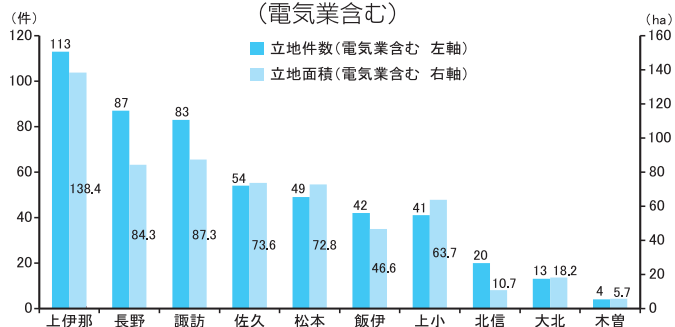
長野県が公表した工場立地動向調査速報（製造業等の事業者が工場、研究所を建設する目的で1,000㎡以上の用地取得（借地含む）を行ったものを対象とする調査）によると、平成29年の長野県内の立地件数は41件で、立地面積は48.9haだった。業種別には金属製品が7件で最も多く、次いではん用機械、生産用機械が各6件、食料品が5件などとなっている。また県外に本社のある企業の長野県内への立地件数は11件で、全立地件数の26.8%だった。平成29年の飯伊地区の立地件数は3件、立地面積は2.5haとなっていた。

長野県の工場立地（電気業含まない）の推移



平成15年から29年の15年間の工場立地（ソーラー発電施設など電気業を含む）の累計を長野県の各広域市町村圏別にみると、飯伊は42件、46.6haで、それぞれ全県の8.3%、7.7%を占める。

広域市町村圏別工場立地件数 H15～H29累計（電気業含む）



岐阜県の平成29年の同調査結果によると、岐阜県の

平成29年の立地件数は30件で、長野県より11件少ない。この内、リニア岐阜駅が設置される東濃地域の工場立地は6件、45.9haだった。過去5年間の立地件数1件あたりの立地面積の平均は、飯伊が1.14haなのに対し、東濃地域は2.14haとなっている。

	飯伊			東濃			上伊那		
	件数	面積 (ha)	1件当たり面積 (ha)	件数	面積 (ha)	1件当たり面積 (ha)	件数	面積 (ha)	1件当たり面積 (ha)
H24	6	3.4	0.57	9	9.6	1.07	6	5.6	0.93
H25	1	2.0	2.00	3	2.5	0.83	3	1.4	0.47
H26	1	2.0	2.00	9	13.6	1.51	3	2.1	0.70
H27	1	0.5	0.50	3	1.7	0.57	3	6.9	2.30
H28	7	6.4	0.91	5	6.2	1.24	3	5.5	1.83
H29	3	2.5	0.83	6	45.9	7.65	8	9.2	1.15
過去5年計、平均	19	16.8	1.14	35	79.5	2.14	26	30.7	1.23

経済産業省の工場立地調査結果では、立地地点の選定理由をまとめている。平成29年の、全国計で選定理由とした挙げた割合の多い順に上位9個までの理由を見ると、用地面で、長野県では工業団地であることを理由とした立地が多い一方で、地価を選定理由に挙げた割合は低い。これとは逆に岐阜県では、地価を選定理由に挙げた割合が多い一方で、工業団地であることを選定理由にした割合が低い。また、長野県の場合、助成や自治体の誠意、積極性、迅速性といった自治体のサポートが選定理由として挙げられる割合が、山梨県、岐阜県に比べ高かった。

以下の各理由の選択率 (%)	全国計	山梨	長野	岐阜
本社・他の自社工場への近接性	17.6%	25.0%	29.4%	32.1%
地価	10.7%	12.5%	5.9%	18.9%
工業団地である	8.9%	18.8%	13.7%	1.9%
人材・労働力の確保	7.6%	6.3%	5.9%	5.7%
国・地方自治体の助成	7.1%	6.3%	7.8%	0.0%
市場への近接性	6.8%	0.0%	3.9%	3.8%
周辺環境からの制約が少ない	6.5%	18.8%	0.0%	5.7%
高速道路を利用できる	6.2%	0.0%	11.8%	7.5%
地方自治体の誠意・積極性・迅速性	6.2%	0.0%	9.8%	5.7%

最後に研究所の立地状況を見ると、平成20～29年の10年間、長野県では7件の立地があり、神奈川県20件、静岡県9件、京都府9件、栃木県8件、大阪府8件に続いている。広域市町村圏でみると、佐久、長野といった北陸新幹線沿線の立地が過半数を占めている。

研究所の立地状況

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
全国 件数 (件)	12	21	17	5	18	15	7	17	20	12
長野県 件数 (件)	0	2	0	1	1	1	1	0	1	0
長野県 面積計 (ha)	0.0	3.7	0.0	3.3	0.9	1.0	0.6	0.0	3.0	0.0
長野県立地広域市町村		上伊那 長野		諏訪	佐久	長野	長野		諏訪	

（資料、図表出所、長野県、岐阜県、経済産業省「工場立地動向調査」）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の販売は、前月比やや減少。一部に前年比もやや減少との声。一部に景況感が悪化した業者も見られた。先行きの見方は総じて弱含み。当月、原材料、資材価格や販売価格に大きな動きはなかった様子。雇用面、設備面で積極的な声は聞かれない。

半導体、液晶製造装置向け部品の販売は、前月比やや減少～概ね横ばい。「米中貿易摩擦の影響か、投資が後ろ倒し」「スマホ系は調整」「サーバー向け鈍化。

後ろ倒し」「FPD関連減少」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も見られた。先行きの見方は総じて弱含み。原材料、資材価格は概ね横ばいも、「アルミ、ステンレスともに値下がり」との報が寄せられた。雇用面で「複数名増員」「若干名補充予定」などの声。設備面で積極的な声も複数ある。

産業機器、医療機器等向け部品の販売の前月比は、一部にやや増加との声もあるが、減少～横ばい。景況感は悪化した業者が多い。「短納期品は相変わらず動きは良いが、単価は下降傾向にある」「医療機器関連は安定している」「一部では動いているが、減少との声を多く聞く」「小物は順調で製品在庫も増やしているが、大口物件は減少」「悪くなったとは聞かぬが、良くなったとは聞かない」「米中の貿易摩擦で市場が全体に冷え込んできた」「どこも落ち込んできたようだ」「業界全体に荷物の動きがない」などの声が寄せられた。先行きも弱含みとの見方が多く、「景気は下降中で今後もさらに悪くなると思われる」などの声。

原材料、資材価格に関し、「ステンレス板材」などでやや上昇との報が寄せられたほか、次月以降「アルミ材の値下げ」があるという。雇用面では、一部に「不足。求人をしている」などの声もあるが、当面現状維持、ないし「過剰感がある。調整が必要になるかもしれない」といった声が多い。設備面では積極的な声も少なくないが、「先行き不透明で様子見」との声も。

建築用金属製品の売上は、前月比、前年比ともやや減少も、「高水準で推移。この時期は例年多忙だが、全国的に同業も多忙な様子」との声が聞かれた。雇用面、設備面で積極的な声。

自動車向け部品の販売は、前月比横ばい～やや増加。前年比は業者により増減分かれる。総じて景況感に動きは見られず、先行きにも大きな動きは見込まれていない様子。一部に雇用面で不足感があるとの声。

光学機器部品の販売は、前月比横ばいとの声。景況感に動きは見られない。先行きは弱含みとの声も。雇用面、設備面で積極的な声が聞かれた。

小型電磁機器の販売は、前月比やや減少～横ばいも、景況感に動きは見られない。先行きに大きな動きは見込まれていない。原材料、資材価格が依然上昇基調にあるとの声が聞かれた。雇用面では現状維持との声が多い。設備面で積極的な声は聞かれなかった。

FA関連モーターの受注は、前月比、前年比ともやや増加も、販売が下降していることもあって景況感は悪化との声が寄せられた。「中国における米中貿易摩擦の影響が、国内販売で出始めており、今後の状況は悪化することが懸念される」など、先行きも弱含みという。原材料、資材価格が上昇傾向にあるとの声。

電気、電子製品の生産は、前月比概ね横ばい、景況感も動きはないとの声が寄せられた。人員の不足が続いているとの声。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上の前月比は、やや増加との声が複数。「年末の動きが速かった。先月の20日頃から生産が増加し、輸送機関の休業もあって今月25日前後には落ち着いた」など景況感が好転した業者も見られた。前年比はやや減少との声が聞かれ、こうした業者からは「食品スーパーが昨年より良くないとの話を聞く。11月頃から動きが悪くなっていると思われる」など景況感が悪化したとの声も。「段ボールの再値上げの話がある」など、原材料、資材価格がやや上昇との声が複数。雇用面では現状維持との声が多いが、一部に「複数増員」との声も。設備面で積極的な声が聞かれた。

水引製品の販売は、時期的なこともあり前月比減少。前年比は、「正月飾りの販売数は例年通り。祝儀用品

の販売が減少傾向にあるが、前年と変わりなく平成30年を締めることができた」など例年並みの声が多い。「水引、段ボール等、紙関係全般に値上げの通告があった。消費増税等も見据えて販売価格の見直しを検討する必要がある」「特に祝儀用品の落ち込んでいる現在、『戦を見て矢を矧ぐ』の轍を踏まないよう、早めに次の手を打つ必要を感じる」などの声が寄せられた。「12月末、水引組合事務局が新しい南信州・飯田産業センターへ引っ越した。まだ建物内はがらんとしているが、多くの人が集い、活気ある水引業界の拠点となることを期待している」との声が寄せられた。

漬物の販売は、前月比、前年比ともやや増加も、「年末商戦も盛り上がり欠けた感」との声。「昨年の12月の原料調達難を思えば、今年は良かったのではないか」との声が寄せられた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比やや増加との声が寄せられた。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったという。

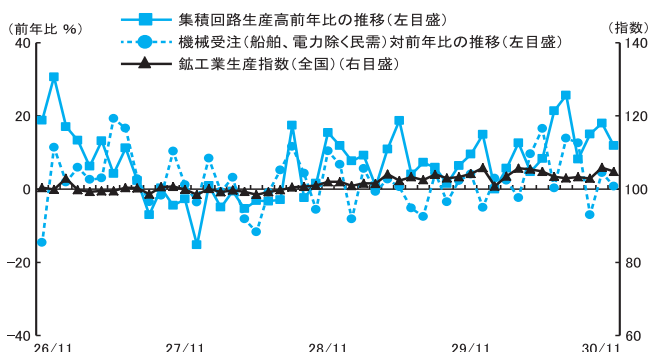
印刷、出版関連の売上は、前月比、前年比とも増加との声が聞かれた。「12月期待の年賀状印刷だが、入稿数は前年より減少。昨年より喪中葉書の注文が多かった感」「来年度は県議会議員を始め首長選、議員選が多い。印刷物も多くなりそう」などの声。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったものの、「年明け早々紙代の値上げがある。お客様の理解を何とか得たいところ」という。雇用面で「求人を継続するが、応募が少ない」との声が聞かれた。

衣料品の販売は、前月比、前年比とも減少との声。「秋冬物の動きが悪く、春夏物の仕入にまで影響が出ている」「この時期に、昨年2月のような寒冷多雪な気候になると、益々バーゲン販売に拍車がかかり、秋冬物のプロパー販売が危くなるのでは。バーゲンを後ろ倒しすれば良い流れに戻りそうな感じがする」「今後数年間、ラグビーワールドカップ、オリンピック、ワールドマスターズゲームと大きなスポーツイベントが目白押し。関連商品の売上に期待」「春夏物の生産では、旧正月で海外生産が滞り、国内の生産ラインの確保が大変な時期を迎える」などの声が聞かれた。雇用面で「新卒者が不足している。採用を若干でも強化したいが、難しい」との声が寄せられた。

【企業からのコメント】

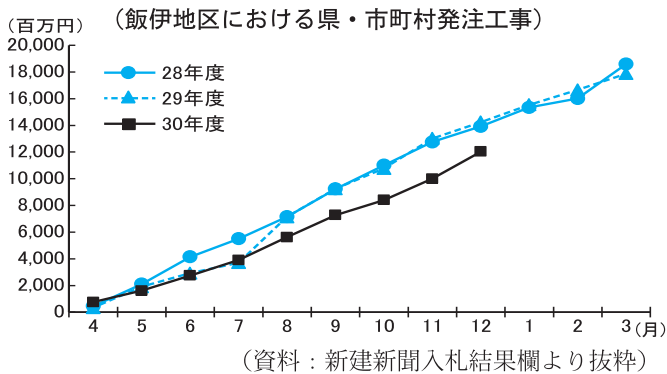
- ★注文の減少に対し、工程を工夫して利益率を上げている。
- ★今年が良い材料があまりなさそう。地道な活動を続けたい。
- ★取引先を増やした効果は大きかった。見積依頼などへのレスポンスが重要。
- ★IT、AIといった時代の変化への対応が必要。

集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

入札額累計の推移



当月景況DI -7.7 (前月 0.0)

翌月予測DI 0.0 (前月 0.0)

官公需

当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、平成31年1月15日調査時点で約20.3億円となっている。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、横ばいとの声が多い中、減少したとする業者も見られた一方で、やや増加したとする業者も少なくない。「官庁の建築工事は少ない」「仕事量が少なく、他県の仕事を下請で受注している会社も多くなってきている」「公共事業の発注は低調。発注量の増加と平準化を望んでいる」「前年同期比は今月も減少」などの声の一方、「補正予算の成立で国も県も公共工事の発注がある。2月の補正があれば建設業はさらに忙しくなる。4月以降も仕事が切れることはないのではないか」「年度末までの十分な受注はある。災害関連工事が多く、地区内の労働力に見合う仕事は確保できている」「年間の追加受注の動きは鈍いが、前年に比べると増加」などの声。こうした中、景況感が、悪化したとする業者は少ないが、良好とするには至っていない。先行きは、受注残高の増加を見込む業者が多い。

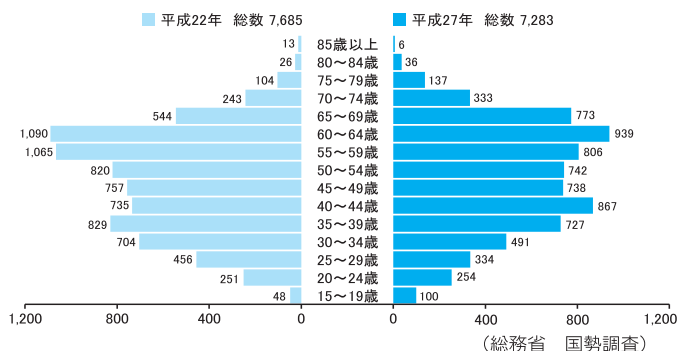
リニア関連工事に関し、「設備投資も含め動きが顕著になりつつあるが、今後の情勢が読めない。当地域の建設業者がどのように関わっていくか模索中の感」との声。

また、「学校のエアコン工事が発注になり始め、空調設備業者の仕事は多い」が、「全国一斉で、機器や職人さんの手配は大変では」との声も。

こうした中、「建築であれ、土木一式、舗装、法面専門工事業者であれ、仕事量が多いのか、人手不足なのか、希望する時期に施行ができていない。入札の不調も出始めている」「各社労務不足で、受注しても施行してくれる人がおらず、発注になっても見送る業者も少なくない。目下はそれほど忙しい」など労務不足を指摘する声は多く、「外注先の施工単価アップがあった」との声も聞かれた。

飯伊地区の建設業就業者の年齢構成

次のグラフは、平成22年と平成27年の国勢調査による飯伊地区建設業の年齢5歳階級別就業者数 H22年とH27年の比較



て飯伊地区の建設業就業者の年齢構成を比較したもので、これによると平成27年の就業者総数が平成22年から約400人減少しているほか、平成22年に比べ平成27年の65歳以上の階層の就業者が増加している。また、平成27年の19歳以下の就業者は、平成22年に比べ約2倍となっている。

民需

当地区の11月の住宅着工戸数は95戸。前月比102%増加、前年比も19%増加している。

当月の調査先企業の受注残高は、前月比横ばいとの声が多く、景況感が好転した業者も見られない。「個人住宅は順調の模様」「今月はあまり受注ができていない。住宅を含めてどうも仕事が薄い感」「リフォーム工事のみ」「住宅など消費増税前の駆け込みがある様子」などの声。工事単価が上昇したとの声が聞かれたほか、資材価格の上昇を指摘する声も。一部に雇用面で不足感を指摘する声が聞かれた。

建設資材

塗料等建設資材の売上は、前月比やや減少も、概ね前年並みとの声。仕入価格が強含みという。

鋼材の売上は、前月比、前年比ともやや減少、「金額的には若干マイナスも、雰囲気に変化はない。年末ということもあり稼働日数が少なく、活発な荷動きとは言えなかった。年内期限の忙しい物件もなく静かだった」「建設、土木関連は活況感に乏しい。先行きも不透明で、新年も厳しいのでは」との声が寄せられた。鋼材価格は「概ね横ばい」という。

生コンの売上は、前月比減少～やや減少。前年比は、一部に増加との声も聞かれるが、減少～やや減少との声が多い。「主な出荷は、リニア関連工事、三遠南信自動車道工事、砂防・護岸工事、浄水場・工場・老人ホーム建設工事などに関わるもの」という。販売が減少したとする業者からは「堰堤工事の継続工事の開始を期待したい」との声が聞かれた。「リニア関連工事の出荷量は前月より減少」という。

骨材の売上は、前月比減少、前年比は業者により増減分かれる。「売上は減少。出荷が少ない」「当月は一部の生コン業者に対する納入があった」などの声。雇用面、設備面で積極的な声も。

【企業からのコメント】

- ★リニア中央新幹線関連工事への期待は大きいですが、急な発注量の増加には対応が困難になる。各業者の実情に合わせて、細く、長い発注をお願いしたい。
- ★米国の政治、政策の影響か、史上最長の経済成長に陰りが出てきたように感じる。この地域の製造業も影響が出ているとの声を聞く。
- ★「技術者、営業を募集」「施工職員募集」「増員したが、依然技術者不足。求人続ける」「高齢化による人員不足が見込まれる」

住宅建築確認申請受付状況 (※本誌調査による概数)

12月 ○飯田建設事務所分

新築 18件 (前年 18件)

増築 5件 (前年 2件)

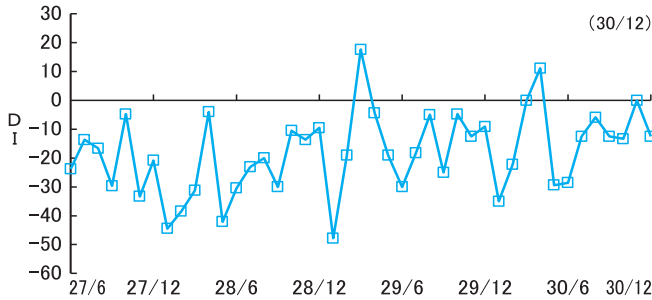
○飯田市役所分

新築 12件 (前年 13件)

増築 3件 (前年 1件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	-12.5	(先月 0.0)
翌月予測DI	-38.9	(先月 -23.5)

商業

食品の売上の前月比は、やや増加～増加。前年比は業者により増減分かれる。「天候も良く来客数増加」「クリスマスケーキの予約などで伸びた」といった声が聞かれたものの、「クリスマス商材は例年並み。年末商材は前年よりやや減少」「購買人口は減少気味。これから伸び悩むのでは」「正月も家族で多くの買物をする人が減っている」「チラシなどをみても相変わらず競争が激しくなっていると感じる」などの声が聞かれ、景況感にはさほど好転していない。「野菜は下落したものの、水産、食肉を始め多くの食品が上昇」など、仕入価格上昇との声は多い。雇用面では「採用継続中」「通年少し不足」などの声。一部に設備面で積極的な声が聞かれた。

【青果卸売市場】

販売は「年末につき」前月比増加との声。野菜は、「昨年、10月の大雨、異常低温などで生育状態が非常に悪く、異常な高値で推移したこともあり、土ものなど例外はあるものの、今年は大幅な安値で推移。全体では、入荷量は前年並みも、価格は前年に比べ8割に止まった」という。果実は、「主力の市田柿、みかん、苺の入荷は順調で、昨年に比べそれぞれ2割、3割、5割増加。一方これら3品目の価格は、前年の80%～85%。ふじは、入荷量1割減、価格は1割高。全体では入荷量5%増で、価格は1%安となった。天候に恵まれ入柿の出荷は順調で、1月以降の推移を注視している」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比増加も、景況感に動きは感じられないとの声。仕入価格や販売価格に大きな動きはないという。

電化製品の売上は、前月比、前年比ともやや増加との声。「先月同様気温が下がらず、冬物季節商品が苦戦」「大型工場のLED、制御盤などで動きがある」などの声が寄せられた。「今後、小中学校への空調案件が集中すると思われる」が、これに関し「対応、対策は課題」という。

家事用品の売上は、前月比増加、景況感も良好との声が寄せられたが、「冬物の売れ行きがあまり良くない」「正月用の飾りもだんだん少なくなっている。仏壇も神棚もない家が増えているし、門松を付けない家もある。今までの風習が消えつつあると感じる」という。仕入に関し、価格が上昇している他、「メーカーによっては紙類の入荷が間に合わない」との声も。

OA、事務機器の売上は、前月比やや減少も、前年比やや増加との声。「レジスターなど消費税関連商品は、夏以降の駆け込み需要が見込まれる。それを前提に対応する必要がある」という。「運賃、配送費」など経費が増加しているとの声が聞かれた。

娯楽用品の売上は、「クリスマス商戦」で前月比大幅増加も、前年比は「売れ筋不在」で、やや減少との声が聞かれた。

衣料品の売上は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。「たまたま大口があり、それを除けば、気温が高く伸び悩み。防寒衣料が売れない」「気温が高い影響か客足が鈍く、売上に影響がある」などの声。仕入に関し、「各メーカーから材料費の高騰や生産国

の人件費の影響で、夏以降単価を上げるとの話がある。それぞれ様子をうかがっている感」との声。

土産物の売上は、前月比概ね横ばいの声。先行きにも大きな動きは見込まれていないという。当月、仕入価格や販売価格に大きな動きはなかったという。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比15%減少、前年比も2%減少。中古車は、前月比2%増加も、前年比は2%減少。11月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は、前月比1%減少も、前年比は7%増加。中古車は、前月比13%減少、前年比も7%減少。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比増加との声。前年比は業者により増減分かれる。「良かった前年に届かなかったが、出前や小宴会が多かった」「年越し需要は昨年より多かった。年末年始家族単位で動くので対応は大変だが、個性豊かな注文が多いと感じる」「忘年会の宴会需要に加え、法事等も順調で昨年より数字は良かった。通年で昨年より良い」などの声が聞かれたが、「平日にあまり入らない日もあり、景気は良くないと感じる」「平成最後の忘年会で盛り上がるかと思ったが、今一つ。景気は良いとは言えない」などの声は多い。仕入に関し「材料の値上げに慣れてきた。数字の管理は重要だが、販売単価の検討も必要になりそう」との声。「どの業種でもそうだろうが、従業員の高齢化や人員確保の困難から効率が悪く、予約を取れるのに人手不足で断らざるを得ないことがある」との声が寄せられた。

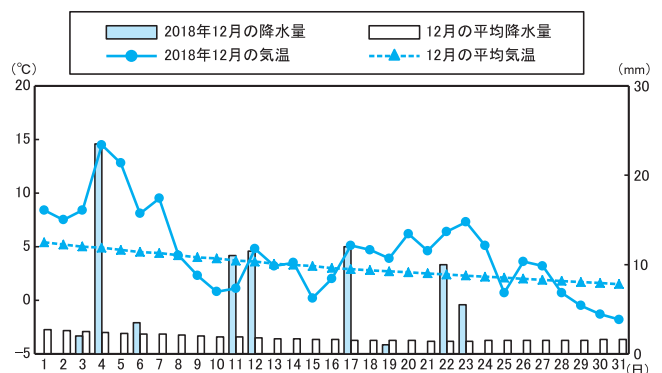
屋神温泉の売上は、前月比、前年比とも減少との声。「スキー場の駐車場は満車なのに、宿泊、昼食はほとんどない」「忘年会需要が足りないし、新年会需要もさほど見込めない」「見渡しても数日連休を取った施設もあるし、当施設も休館して補修などを行った。全体に静かな月だった」などの声。先行きも「予約がやや減少」など、「先行き不透明感が強い」という。雇用面で「中居さん募集も、人材不足は続く」「人手不足は心配。無理して満館にしても、トラブルがあればその後に関することもある。困惑している」など、人手不足の影響は深刻な様子。

タクシーの売上は、前月比増加、前年比やや減少との声。「繁忙期だが、週末に需要が集中している。例年のことになりつつあるが、対応できないこともある」「天候による需要もなく、厳しかった」などの声が寄せられた。「繁忙期に実働率が上がらない。各社同様だろうが、実質的な乗務員不足で機動力が確保できないことが大きな問題。勤務をどうするか、働きやすい環境をどうするか、といった課題を真剣に考えなければならぬ」との声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★「社屋増設を計画中」「オフィスリニューアル計画中」
- ★人員は、目下は充足も、職種によっては今後不足するかもしれない。働き方改革を進める必要がある。
- ★10名募集
- ★昨年よりも忙しかったが、後継者が帰り少し体が楽になった。昨年のような疲れは感じなかった。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目（27） 報連相（ハウレンソウ）

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

（ハウレンソウ）報告、連絡、相談この三つは会社経営でなくてはならない絶対条件です。これらが上手く運んでいけばいいのですが、貴方の会社では如何ですか。

業績の良い明るい会社では必ずと言って良いほど報連相がスムーズに行われています。

うちの社員はまったく怪しからん、報連相が出来ていないと愚痴を零す社長がいますが、それは社員が悪いのではなく社長自身の態度がそうさせているなら社長自身の問題です。報告をしたくなくなる雰囲気、態度、よく話を聞いてくれない、時間がないと言って相手にしてくれない、このようなことがあると社員は段々報告にこななくなってしまうものです。

部下は社長の指示や判断を仰ぎたくて報告、連絡、相談に来ているのですから、どんなに忙しくて時間がないと言ってもシッカリと時間を作り部下の言い分を聞いてやり、的確な指示なり返事をしてあげなくては会社の機能は順調に回っていきません。一日二日と伸ばし伸ばしに面談を遅らせていけばそれだけ決定が遅れ莫大な損失につながるかもしれません。部下が相談に来るのは何らかの指示や決定が必要だからなわけで、真面目に部下の話聞いてやらないと部下のやる気を無くすだけでなく、職場の雰囲気も悪くなり全体的なモラルも低下していきます。これらの相談をキチンと聞いてやれば職場の問題点や課題も見つかり、ひいては利益への貢献にも繋がってきます。

部下の話を目に聞いてやらないのは部下を信頼していないばかりか、評価もしておらず部下の期待を裏切ることにもなります。部下の積極的な報告、連絡、相談に対する社長の適切な対応がないと、部下は不満を持ち二度と提案はしなくなりお互いのコミュニケーションも悪くなり仕事の態度にも粗が出てくるようになります。まず気軽に話し合える雰囲気作りが一番大事ではありませんか。

人は他人の態度や行動が分からないものですが、それ以上に自分の態度や行動が分からないものです。部下の話を進んで聞く耳を持つことが報連相を推進する手立てなのです。

人は人の痛みが分かって始めて一人前、社長と言う立場ではなく人の気持ちはその人の立場になって理解できてはじめて一人前です。人の心が分かってやれないと部下はやる気を無くしてしまうものです。

多くの中小企業で会社の問題点とは質問すると社長への不満が一番出てきます。

話を聞いてくれない、うちの社長は部下の話聞く耳を持っていない等。

指示命令を受ける側が社長に対して不満を持っていると、どんな指示命令を出しても社長の意図する所を理解してもらえず、結果も自ずと良い方向に向くはずがありません。仕事は人間、部下が働いて成し遂げるもの、そのためには気持ちよく指示や命令を聞いてもらい意図する所を理解した上で動いてもらわなければ利益が出てくるはずもないのです。

いくら社長が新しいアイデアを出してもそれを実行する社員が素直に動いてくれなくては、企業は成り立ちません。外から見てどんなによい企業に見えても内部のコミュニケーション不足があり部下が不平不満たらたらでは、経営機能は麻痺してくるものです。

決して部下を甘やかせと言っている訳ではありませんが、本当に会社のことを思い提案や相談している社員の意見は必ず聞いてやるべきです。その意見の通りにするかしないかは別の話であり、部下の意見を却下するにも

却下の理由を明確に部下に説明しよく納得させることです。そういう対応をすれば次の機会にも意見や提案を出してくるものです。小さな会社の社長は殆んどワンマン社長であり、それは決して悪いことではなくワンマンでなくては小回りのきく運営はできないことですが、部下の話はよく聞いてやり相互の理解と信頼関係を作らないと成り立たないものです。

もっとも相談を持ってくる側の問題も当然あります。報告相手が欲しい要件を的確に簡潔に要領よく説明すれば良いのだが、これが中々難しい。要領よく簡潔に聞き手の身になって報告できるかどうかということは非常に大事です。忙しい時にだらだらと何が言いたいのか分からない説明されると、頭にもきてしまいます。報告の上手い人間と真面目だが下手な人間がいる、いつまでたっても結論が分からず何が言いたいのか聞く側ではよく理解できない部下もいますね。大変なことですが報連相の仕方を教えることも大事です、何回も報告する内に段々巧くなっていきます。この説明の仕方を訓練するのもまた社長の仕事です。

社長はコミュニケーションの要であることをよく理解し、コミュニケーションのポイントは相手が素直に耳を傾けてくれるかどうかです。聞き手に誤解されてしまえば受け止め方が異なってしまい結果も異なってきます。部下を理解する態度が大事であり、話の腰を折ることなく聞いてやることです。良い会社を目指すならまず報告、連絡、相談がどんどんできる、明るい雰囲気作りを目指しましょう。

社長は経営のスペシャリストである前に、人を動かすスペシャリストでなければなりません。

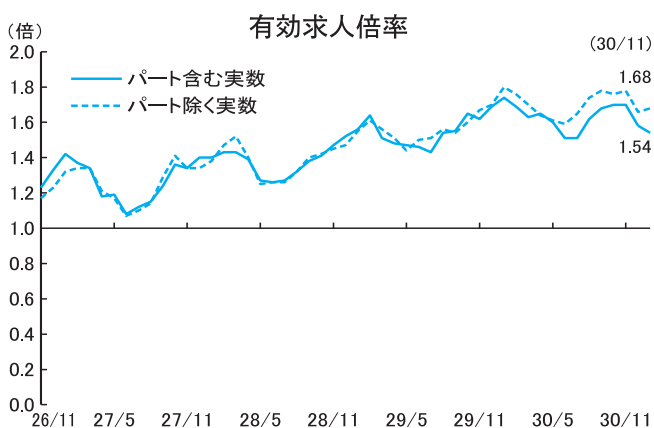
部下の話をよく聞き部下の動機付けをして、仕事を成功に導くのが任務です。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

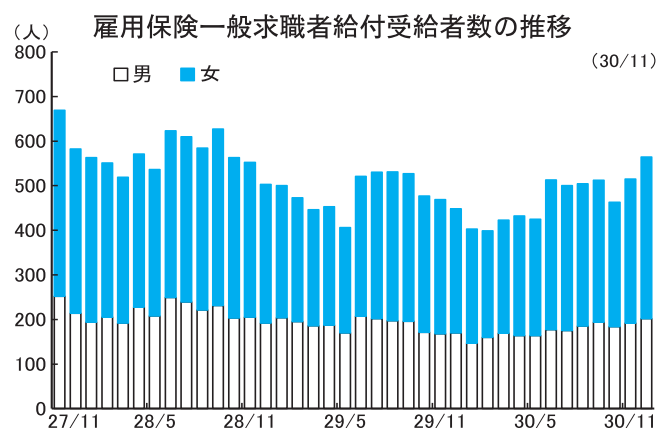
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、お取引の支店、または 飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



11月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.54倍と、前月から0.04ポイント低下。パートを除く実数は1.68倍で、前月から0.02ポイント上昇している。



11月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は10人増加、女性も39人増加。全体では564人と前月から49人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

供用開始が間近に迫る 三遠南信自動車道 佐久間道路

去る12月25日、浜松市えんてつホールにおいて、三遠南信自動車道（佐久間道路）開通に伴う祭典実行委員会主催の「三遠南信地域シンポジウム ～三遠南信自動車道による交流・連携の深化～」が開催され、出席し聴講しました。同シンポジウムの開会挨拶では、鈴木浜松市長が「三遠南信自動車道佐久間道路供用開始は、31年3月2日に決定した」と開業日について言及しました。



「三遠南信地域シンポジウム」会場（浜松市中区えんてつホール）
（リニア対策課撮影）

1. 山あいになららしい道路が姿を表わす

今回浜松市の会場に向かうに際し、国道151号線を南下しました。途中東栄町から473号線に入り、大千瀬川に沿って走るとやがて目の前に新しい橋梁・構造物が目に入ります。佐久間道路の起点・終点の佐久間川合インターと東栄インターとの中間にある浦川インター（以下IC）です。この地区は東栄町とも佐久間地区とも狭隘な道路による連絡で、自動車のすれ違いが怖い箇所が大部分であり、地区住民にとって今後隣地区への移動で劇的な速達性・快適性がもたらされることを実際の下道（国道）を走って実感できました。



浦川インターチェンジ
インター施設は写真右手に設置される
（リニア対策課撮影）

浦川地区を抜け、またやや狭い山中の道路を走ると、開けた場所に三遠南信道の道路敷やインターチェンジのランプウェイなどがまとまって目に入りました。従来「佐久間IC」の仮称でしたが、インターチェンジが設置されるのは厳密には川合地区のようで、正式名称は「佐久間川合IC」となります。インターは、本体はほぼ完成、周辺の土工事に追い込みがかかっている印象でした。



完成目指して追い込み段階の佐久間川合インターチェンジ
（リニア対策課撮影）

2. 三遠南信自動車道建設の大きな1歩

三遠南信自動車道佐久間道路は、下図の通り、愛知県東栄町の東栄ICから浦川ICを経て佐久間川合ICまでの6.9kmとなります。事業着手が平成7年度、工事着手は平成20年度でした。区間には延長3,436m佐久間第1トンネル、同2,408mの佐久間第2トンネルの2本と4本の橋梁があり、地上部分が極めて短く工事が難航したことがうかがわれます。前述の通り、昨年12月19日、国交省中部地方整備局浜松河川国道事務所により本年3月2日の開通とインターチェンジの正式名称が記者発表されています。同事務所田中所長によると、これにより「本年度末には現道活用区間を含め55kmの供用となり、全体の約6割に達する」とのことです。

既に供用されている三遠南信道鳳来峡ICと東栄ICとの未開通区間は、各工区で工事が進められているのを151号沿道に見ることができますが、田中所長は「同区間の最長トンネルである三遠道路3号トンネル約3.5kmの掘削に取り組んでおり、東栄IC・鳳来峡IC間についてはもう少しお待ちいただきたい」とのことでした。

唯一の未事業化区間である佐久間川合IC～水窪間は、平成26年10月に環境影響評価に着手していましたが、30年11月環境アセスメントの公示が終了し、いよいよ事業化の目途が立ったと報告されました。

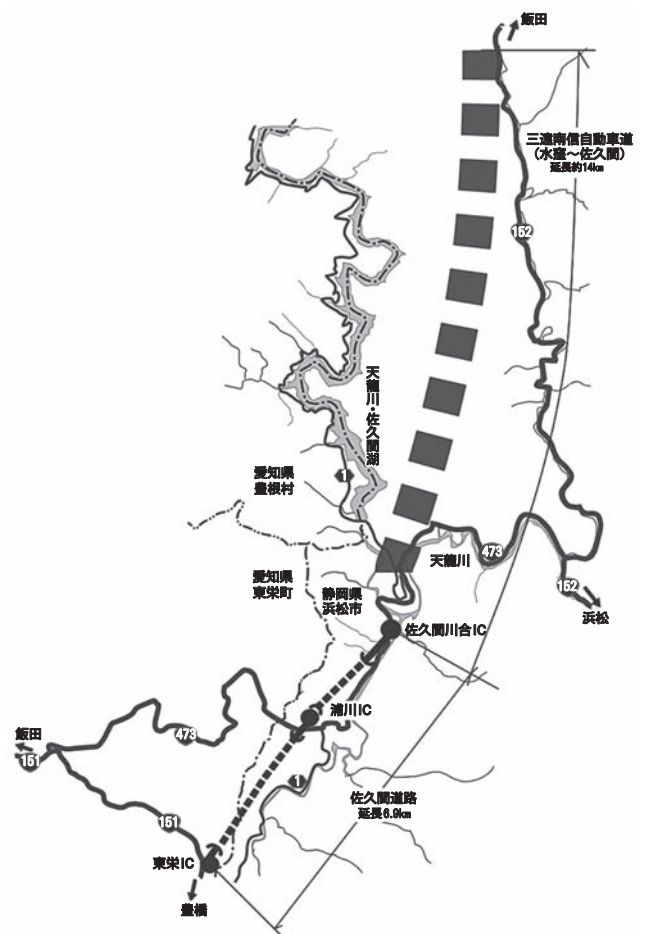
3. 三遠南信自動車道の全線開通、リニア時代への期待

南信州地域関連では、「青崩峠道路は、今年度中に調査坑から本坑掘削に着手」、「飯橋道路天龍峡IC・龍江IC間は、平成31年度の開通を予定」（田中所長）されています。

佐久間地区への訪問の際は、これまでかなりたいへんな道路状況でしたが、佐久間道路の開通により、訪問はかなり容易になります。また、佐久間地区から水窪地区へ向かう場合は、国道473号・152号を通行することになりますが、これもまた狭隘かつ雨量規制の伴う険峻な地形の中を通る道路で、水窪・佐久間間に高規格道路が開通すれば、既に工事中の青崩峠道路の供用と併せて佐久間地区・水窪地区と南信州地域との行き来は劇的に向上します。

田中所長は「管内の一般の方々に、三遠南信道が開通したときの自分の姿を妄想していただき、その声を寄せて貰っている」とのことでした。リニア開通に併せて三遠南信自動車道が全通して、佐久間地区・水窪地区、隣接する豊根村などこの県境一帯がリニア長野圏駅勢圏となり、行き来が頻繁になってこの辺りは南信州地域の一部のようになる…。この近辺を運転しながら、そのような妄想に耽りました。

愛知・静岡県境部の道路状況と三遠南信自動車道の概要



(当日配布資料を基にリニア対策課で作成)

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成25年	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1
30	—	—	327,033	△ 0.3	219,979	0.6	112,882	△ 2.4
平成29.10	63	23.5	26,902	△ 4.1	18,323	△ 1.9	10,081	△ 1.9
11	80	60.0	25,790	0.8	18,215	3.4	9,454	1.8
12	48	△ 4.0	28,270	0.1	17,973	△ 0.6	8,761	1.8
平成30.1	52	△ 7.1	25,548	△ 3.5	17,511	2.6	8,370	△ 2.3
2	54	28.6	22,162	△ 1.3	16,857	1.5	8,467	△ 1.9
3	46	△ 33.3	29,392	△ 1.8	20,443	3.9	10,045	△ 1.4
4	71	121.9	25,759	4.2	17,961	3.8	9,472	△ 4.0
5	62	19.2	27,676	△ 3.2	18,240	0.0	10,058	△ 4.8
6	53	△ 7.0	24,093	0.5	16,062	1.1	9,753	△ 1.6
7	26	△ 50.9	26,163	△ 2.3	17,104	△ 6.7	9,564	△ 3.2
8	46	△ 33.3	36,722	△ 0.2	22,773	0.8	10,136	△ 2.0
9	41	△ 51.2	27,335	0.6	18,457	△ 0.5	9,087	△ 3.8
10	47	△ 25.4	27,355	1.7	18,546	1.2	9,903	△ 1.8
11	95	18.8	26,399	2.4	17,852	△ 2.0	9,602	1.6
12	—	—	28,429	0.6	18,173	1.1	8,425	△ 3.8
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本自動車検査登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成25年	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—
30	27,525	0.6	7,352	1.1	—	—
平成29.10	1,940	△ 10.7	594	△ 6.3	1.65	1.50
11	2,083	0.4	527	△ 2.0	1.67	1.44
12	1,999	△ 4.0	593	6.3	1.67	1.73
平成30.1	1,904	△ 5.4	422	9.0	1.70	1.55
2	2,356	△ 3.5	530	△ 2.2	1.65	1.79
3	3,854	△ 4.1	811	△ 8.3	1.70	1.75
4	1,898	1.1	628	△ 12.4	1.69	1.70
5	1,896	△ 1.7	597	6.0	1.70	1.75
6	2,189	△ 13.3	737	10.2	1.72	1.71
7	2,230	2.3	617	△ 2.1	1.70	1.62
8	2,110	23.5	642	14.6	1.72	1.61
9	2,623	△ 0.6	589	△ 3.1	1.70	1.41
10	2,211	14.0	623	4.9	1.67	1.34
11	2,293	10.1	572	8.5	1.67	—
12	1,961	△ 1.9	584	△ 1.5	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成25年	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
30	40,929	54,405,406	—	—	1,815	△ 5.2
平成29.10	4,055	4,483,553	7	1	142	△ 3.4
11	3,500	4,344,046	4	0	142	△ 14.5
12	3,536	4,547,597	6	0	186	△ 9.7
平成30.1	3,893	5,249,904	8	1	134	15.5
2	3,528	4,262,385	8	0	159	0.0
3	3,186	4,515,904	11	3	207	△ 22.2
4	3,338	4,505,883	5	1	121	△ 4.7
5	3,955	5,306,227	5	2	183	50.0
6	2,907	4,598,402	9	0	149	△ 6.9
7	3,864	4,533,688	10	1	145	△ 2.0
8	3,455	4,778,765	6	1	147	△ 12.0
9	2,790	4,207,557	8	2	148	△ 17.3
10	3,846	4,311,935	11	6	134	△ 5.6
11	3,163	3,725,724	9	3	138	△ 2.8
12	3,004	4,409,032	—	—	150	△ 19.4
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成25年	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.8	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
30	2,765,376	0.2	1,871,062	0.3	423,828	15.1	1,017,497	△ 0.1
平成29.10	238,349	△ 3.6	169,371	△ 1.6	29,164	△ 21.3	89,392	△ 8.6
11	244,783	1.1	183,681	1.5	33,614	2.6	95,565	1.5
12	227,227	△ 0.6	155,629	0.1	24,546	△ 0.1	76,161	△ 1.5
平成30.1	206,724	0.4	134,680	3.5	26,534	△ 1.8	67,166	△ 2.2
2	194,834	1.7	128,291	3.6	25,793	1.7	63,376	△ 1.9
3	234,949	△ 0.1	152,182	1.5	28,439	3.2	79,385	△ 1.5
4	225,070	1.1	145,746	0.4	57,529	61.5	91,847	10.4
5	236,646	△ 1.2	154,355	△ 1.6	39,871	△ 13.2	87,439	△ 8.0
6	222,252	△ 1.5	150,672	△ 0.6	32,576	55.4	75,205	△ 0.6
7	232,347	△ 2.8	159,791	△ 0.8	34,045	20.9	89,874	3.4
8	260,148	1.1	173,114	△ 0.5	42,127	4.6	112,753	△ 1.5
9	230,249	△ 0.8	160,382	△ 2.1	27,490	△ 8.5	84,642	△ 4.2
10	249,194	4.6	174,737	3.2	45,930	57.5	96,696	8.2
11	245,989	0.5	184,362	0.4	38,239	13.8	95,649	0.1
12	226,974	△ 0.1	152,750	△ 1.8	25,255	2.9	73,465	△ 3.5
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							